

豊かなむらづくり全国表彰事業

横輪町活性化委(伊勢) 東海農政局長賞に

に、都市と農山村の交流促進施設「郷の恵『風輪』」

高齢化が進む伊勢市南部の山間部で様々な取り組みを続ける「横輪町活性化委員会」が、今年度の「豊かなむらづくり全国表彰事業」の地区アロックス(東海3県)審査で、東海農政局長賞を受賞した。同表彰は、農林水産省などが設けた制度。

活性化委員会は、市が2006年11月に同市横輪町



横輪町活性化委員会が拠点とする「郷の恵『風輪』」

をオープンさせたのに合わせて、住民が中心となって発足。「風輪」の指定管理者を務める。

横輪町地区の人口は100人弱で、65歳以上の高齢者が約4割を占める。

活性化委員会は、ソメイヨシノより開花が遅く、花

が大きい横輪桜を生かした桜まつりなどを最初に、地区のPRに動き出し、特産の横輪の米を使った「御平家餅」の考案、農山村ならではの自然巡りやマップづくり、ホテルの観察や月見など、知恵を出し合ってきた。こうした努力で、2007年度の来訪者約5万2000人、購買者約1万3000人は、昨年度は来訪者

約7万5000人、購買者約1万9000人に増加。今回の「豊かなむらづくり全国表彰」の県代表に選ばれた。岡惣松会長らは25日に市役所を訪れ、鈴木健一市長に受賞を報告した。岡会長は「受賞を弾みに、これまでに以上に努力したい」と語り、鈴木市長も支援を約束した。